

## 記者発表資料

(県 政)

### 県庁西隣に誕生する **新たな医療福祉の連携施設の愛称を大募集！**

県庁西隣に整備を進める「医療福祉の連携施設（(仮称)第二大津合同庁舎）」は、医療や福祉に関する多くのチームが集まって活動したり、新型コロナウイルスといった感染症の対応を担います。

また、1階エリアには、パスポートセンターや日常的に県民の皆さんが気軽に立ち寄れる場所を設置予定です。

そこで、県民の皆さんが親しみを持ち、訪れたいくなるすてきな名前を広く募集します。



#### 施設の特徴

- パスポートセンターや県民の健康増進等につながる情報発信スペース、一体利用できるロビーやホールといった交流機能を設置する。
- 新型コロナウイルスといった新興感染症発生時の司令塔機能を設置する。
- 約30の医療や福祉に関係する団体の事務所機能が集積し、多職種連携の基盤とする。
- その他、県産木材を活用した「木のぬくもりを感じる施設」、ZEB Readyを実現する「環境に配慮した施設」、ユニバーサルデザインを取り入れた「人にやさしい施設」とする。

#### 募集概要

- 募集期間  
令和8年6月2日(火)～令和8年7月7日(火)
- 応募方法  
(1)しがネット受付サービス (2)郵送(当日消印有効) 応募(しがネット)はこちら→
- 特典  
採用者には、ギフトカード1万円分と滋賀ゆかりの賞品を贈呈予定です。  
また、抽選で5名様に滋賀ゆかりの賞品を贈呈予定です。



#### 今後の予定

- 施設は令和9年度にオープンを予定しています。

#### 参考

- 【医療福祉拠点構想】  
滋賀県では、医療福祉の連携強化や医療人材の確保・養成等を目的として、県庁西隣に「医療福祉拠点」の整備を進めています。